



平山先生の危機管理について熱心に聞く参加者

年度保健所市町水道担当者
11月29日に、令和元年で説明されました。
講演では、次の4つの危機管理を次の視点

危機管理をテーマに講演

水道担当者などを集めて研修会を開催

環保協の
環境生活・
センター

(13) 業務開発課

当者研究協議会を公衆衛生会館で開催し、水道事業体や保健所の関係者約60人が出席しました。

本年度で32回目を迎える本協議会は、広島県及び市町の水道担当者、水質検査を担当して、昭和63年から開催しています。

毎回、時代に即した

テーマ

を情報発信する

とともに、水道事業体

が抱える施設管理や経営問題などのさまざま

な情報交換の場となっ

ています。

特別講演では、「令

和時代を生き抜く水道

施設のレジリエンス」

と題し、名古屋大学減災連携研究センター平山准教授に話していました。

講演では、次回の視点

で説明されました。

講演では、次の4つ

の危機管理を次の視点

①過去の災害事例により明らかになったインフラのぜい弱性とインフラ更新の優先順位付けが必要

②危機管理分担の不明確さによる復旧の遅れ

③もう一つの災害大国アメリカから学ぶべき点

④リスクコミュニケーション

シヨン

今回の講演内容は、

水質事業と直接関係あるものではありません

でしたが、多くの事例

をもじえた示唆に富んだ話をしていただきました。

した。

続いての講演は福山市上下水道局水質管理センターから2題の話

をいただきました。最初に天満技師から「出

原浄水場における從属

セシターから2題の話

をいただきました。最後に天満技師から「出

原浄水場における從属

セシターから2題の話

をいただきました。最初に天満技師から「出

原浄水場における從属

セシターから2題の話